

2022年度 日本工学院専門学校											
ミュージックアーティスト科／サウンドクリエイターコース											
作詞・作曲 3											
対象	2 年次	開講期	前期	区分	必修	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	古峰拓真/杉山航平 川島基宏/須藤直也			実務 経験	有	職種	作編曲家				
担当教員紹介											
アーティストやゲーム音楽、映像作品への楽曲提供に加え、楽器演奏やDJとしてステージに上がるなど各々が様々なジャンルにおいて活躍している。											
授業概要											
Real Dreamsオーディション用音源の制作、他外部オーディション用デビューに向けた楽曲制作を制作することを最大限の目的とする。 楽曲の構成・各セクションの機能を理解し、ヒット曲の分析も行い、分析結果をもとにセクションでのメロディー制作のノウハウを習得する。 同時にコード進行制作や編曲も学び、デビューに向けた楽曲を完成させることを目的とする。											
到達目標											
各々の音楽活動内容に合わせた楽曲を制作できるようにすることを目標とする。 卒業時まで可能な限りの曲数を制作し、また多くのスタイル（パターン）の楽曲を完成させることを目指す。 コラボレーション作業によりコミュニケーション能力の向上を身に付け、チームプレイの大きな利点でもある完成度の高い作品を輩出できるようにすることを目標とする。											
授業方法											
この授業では自分が作り出したメロディーをクリエイターとタグを組んで制作していく。自分が表現したい曲の世界観をリファレンス楽曲などを使用したりして伝えていく。ボーカルの生徒、クリエイターの生徒の双方がリファレンスやテーマを共有することで1曲を完成させ仕上げていく。											
成績評価方法											
試験・課題	70%	課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価									
成果発表	20%	授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価									
平常点	10%	積極的な姿勢									
履修上の注意											
楽曲制作をする上でのオーダー力とオーダーを受け取る側のイメージネーション能力が非常に重要となってくる。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。出席率、提出率が4分の3を満たしていない者、4分の3以上出席しない者は、定期試験受験不可、進級できない。											
教科書教材											
毎回授業にて資料配布を行う 参考書・参考資料等は授業中に指示をする											
回数	授業計画										
第1回	音楽の三要素を軸に曲の成り立ちを理解させる										
第2回	歌詞の書き方 言葉を歌詞としてとらえるトレーニング										
第3回	抽象的な表現と具体的な表現の違いを理解する 実際に2つのパターンの詞を作成する										
第4回	作った歌詞のモチーフにメロディーを付ける メロディー制作のパターンを学ぶ										
第5回	メロディーのモチーフディベロップメント（発展系）について考察する										

2022年度 日本工学院専門学校	
ミュージックアーティスト科／サウンドクリエイターコース	
作詞・作曲 3	
第6回	DAWでのメロディー入力作業の実施 仮メロディーの音色設定を考察する
第7回	少し長めの歌詞のモチーフに楽器を使用してメロディーを付ける
第8回	Verseの意義・音域・作り方など既存楽曲分析をし理解する パターンを把握できるようにする
第9回	想定したサウンドに合うメロディーを制作する
第10回	Bridgeの意義・音域・作り方など既存楽曲分析をし理解する パターンを把握できるようにする
第11回	Verse/Chorusの関係性を理解した上でBridgeメロディーを制作してみる
第12回	Chorusの意義・音域・作り方など既存楽曲分析をし理解する パターンを把握できるようにする
第13回	力強い（印象的な）メロディーの意味を理解した上でChorusを制作してみる
第14回	フルコーラス制作 4 Rhythm sectionでのBasic Arrangeを含めた制作を試みる
第15回	完成された音源を発表し評価を受ける